

# 中部国際空港

## 国際線の早期復便に向けた緊急要望



2020年10月

愛 知 県  
岐 阜 県  
三 重 県  
名 古 屋 市  
名 古 屋 商 工 会 議 所  
一 般 社 団 法 人 中 部 経 済 連 合 会  
中 部 国 際 空 港 株 式 会 社

## 中部国際空港 国際線の早期復便に向けた緊急要望

10月1日から、ビジネス上必要な人材等に加え、順次、留学生、技能実習生、家族滞在等、その他の在留資格を有する者の新規入国が許可された。海外への企業進出が盛んで、ビジネス需要が高く、在留資格を持つ外国人の居住も非常に多い当地域にとって、国際線の早期復便が強く求められる。

感染拡大を抑えつつ、国際的な人の往来を拡大していくためには、空港入国時の検査能力の確保が急務であり、下記事項について早急に対策を講じるよう要望する。

### 記

- 1 入国時の空港検疫の体制が、国際線の復便増加の制約要因になっていることから、検査官の増員や外部民間検査会社の活用など、中部国際空港の検疫体制の拡充を早急に図ること。
- 2 また、中部国際空港について、中国（香港及びマカオを含む。）及び韓国からの旅客便の到着制限を速やかに撤廃すること。
- 3 さらに、現在、9時から14時（11月からは「9時から15時」）に限定されている国際線の到着時間帯について、まずは、18時頃までの到着が可能となるよう必要な措置を行うこと（福岡空港では17時台の到着を認めている）。

2020年10月8日

愛知県知事

岐阜県知事

三重県知事

名古屋市長

名古屋商工会議所会頭

一般社団法人中部経済連合会会長

中部国際空港株式会社代表取締役社長

大村 秀章

古田 肇

鈴木 英敬

河村 たかし

山本 亜土

水野 明久

犬塚 力